



# 次代に伝えたい！ 名古屋食文化遺産

取材・撮影・文 永谷正樹

## 「第2回」ひつまぶし

今や名古屋観光の目玉となっている「名古屋めし」。その反面、地元の人にはあまり食べなくなっている話も耳にします。まず私たちが名古屋の食文化を学び、「名古屋めし」食へることで郷土に思いを寄せ、ひいては子供世代にその素晴らしさを伝えていきたいと思います。

### ひつまぶしは 客同士のトラブルから生まれた!?

スタミナが失われがちな、暑い季節に食べたいのが、鰻。名古屋で鰻料理といえば、何といても「ひつまぶし」が有名でしょう。名古屋めしの中には、味噌かつや味噌煮込みうどんなど、味噌を使った料理や、辛いあんかけスパなど、好みがはっきりと分かれるものが多いですが、ひつまぶしが苦手という人はあまりいません。まさにキング・オブ・名古屋めしだと思ってしまう。ところが、ネット上には、ひつまぶしについてネガティブな書き込みもあります。「型崩れした蒲焼きや切れ端の部分をもったいないから

は、後発ゆえに、他店との差別化が急務でした。お店をオープンさせる前、山本さんは全国の養鰻場を訪ねました。「そこで、通常よりも1.6倍の大サイズの鰻を見つけました。これを1年を通して提供できないか、と考えました。だから、あえて産地を限定せず、時季ごとに全国の養鰻場から厳選した鰻を仕入れています。」

看板メニューである「大ひつまぶし」や「大う家井」を初めて見たとき、あまりにも大きすぎる鰻に驚愕しました。と、同時に、ここまで肉厚の鰻は焼くと固くなるのでは？とも思いました。

が、食べてみて、それは杞憂に終わりました。皮はパリッと、身はふわふわ。鰻そのもののポテンシャルの高さも驚かされます。タレも甘すぎず、辛すぎず、研究を重ねたことが伝わってきます。鰻について一言ある方もきっと満足することでしょう。

### 薬味の塩とワサビが 海老の甘みを引き出す

ひつまぶしの特徴は、薬味やだし汁を加えることで、違った味わいが楽しめることに尽きます。名古屋では牛肉や鶏肉などを使ったひつまぶし風のメニューを出す店があります。地下鉄名城線砂田橋駅の近くにある「天ぶらやじま」もその一つ。

ここは、独自ブレンドした油を使い、旬の魚介や野菜の旨みを薄衣に閉じ込めた天ぶらが楽しめる人気店。ひつまぶし風のメニューが誕生したのは、オープン3周年を機に移転リニューアルした昨年とのこと。



①

①大ひつまぶし  
店の名物「大ひつまぶし」3410円。大サイズの鰻2/3匹を使用した、ボリューム満点のメニューだ。  
②大う家井  
井派には、大サイズの鰻1匹分がのる「大う家井」4320円がおすすめ。ひつまぶしと井、いずれもミニサラダや茶碗蒸しが付くセットのほか、肝焼き入りも数量限定で用意している。  
③山本英稔社長  
今もこまめに店を訪れて味のチェックを行っている。



②



③



④



④

④「かき揚げまぶし」  
昼は自家製豆腐と一口そば、黒糖くず餅が付いて1728円。夜は小鉢三種と黒糖くず餅付きで2160円。「なごやめし博覧会2016」の新たなごやめしグランプリ総選挙でグランプリに輝いた。  
⑤店主の矢島知典さん  
天ぶらのほか、割烹料理や肉料理の店も手掛ける。



### 店 DATA

#### ひつまぶし 家 本店

住：名古屋市瑞穂区弥富町桜ヶ岡6  
TEL：052-833-0111  
営：11:00～14:30(14:00L.O.)  
17:00～21:00(20:30L.O.)  
休：無

#### 天ぶら やじま

住：名古屋市東区砂田橋5-2-10  
TEL：052-711-0182  
営：11:30～14:00(13:30L.O.)  
17:30～22:00(21:30L.O.)  
休：日



永谷正樹  
ながやまさき

#### Profile

'69年愛知県生まれ。名古屋の食をテーマに「おとなの週末」(講談社)や「STORY」,「女性自身」(光文社)などの全国誌に記事と写真を提供するフードライター兼カメラマン。講演やテレビ出演のオファーも多数。

### 超肉厚の「大ひつまぶし」に驚愕！

さて、今回紹介するのは、昨年2月、地下鉄名城線総合リハビリセンター駅の近くにオープンした「ひつまぶしう家本店」です。お店を運営するのは、名駅をはじめ、札幌や京都にも展開する蟹料理専門店「札幌かにか」を手がけるイサン株式会社。社長の山本英稔さんは、人づてにあの店が美味しいと聞けば、いち早く足を運ぶ食通。「特に鰻は先代社長の父も大好物で、よく一緒に食べに行きました。私自身が食べて満足できる店をやりたいたと思っていました。」名古屋には、鰻の有名店が沢山あります。創業が明治時代という老舗も、珍しくはありません。しかし、「ひつまぶしう家本店」

「コースのメに食べる天井と天茶を選ぶのに迷うお客様がいたんです。そこで、ひつまぶし風にすれば両方楽しめるのではと思ったんです。」と、話すのは店主の矢島知典さん。それが、お櫃に入ったご飯の上に海老と三つ葉のかき揚げをのせた「かき揚げまぶし」です。1杯目はブレンド塩で、2杯目は塩とワサビ、ネギをのせて。3杯目は天井のタレで、4杯目はタレとワサビ、ネギで。5杯目はだし汁で。実に5通りもの味が楽しめるのです。驚いたのは、天ぶらとワサビの組み合わせ。とても相性が良く、海老の甘みが引き出されるのです。これは矢島さんにとっても、意外な発見だったようです。

「休業時代も含めて、天ぶらをワサビで食べたことはありませんでした。和食の世界では、この組み合わせは邪道かもしれません。が、塩とワサビでいただく2杯目の食べ方が、私も気に入っています。」ひつまぶしに使うワサビやネギ、海苔などの薬味と香り豊かなだし汁は、鰻のみならず、魚介や牛肉、豚肉、鶏肉など、井もの具材になるものなら、何にでも合います。ゆえに、さまざまなアレンジメニューが生まれたのでしよう。薬味とだし汁で味を変化させることを考えた先人の知恵には脱帽です。

# JC | 2017/ フェスティバル

～轟け!名古屋の魅力～

日時

平成29年  
8月27日(日)  
11:00～17:00

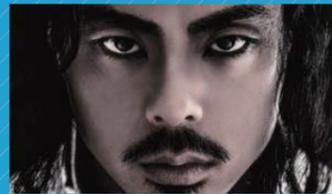
**参加  
無料**

※第1会場への入場は名古屋城入場料500円が別途必要となります。

## 第1会場 | 二之丸広場西之丸広場 名古屋の魅力を体感しよう!!

### オープニングダンス パフォーマンス

世界を席巻するパフォーマンスを一緒に踊って体感しよう!



**KENTO MORI**

愛知県から世界を舞台に活躍する、マドンナが手放さないトップダンサー。

### 大名古屋食文化 フェスティバル

名古屋食文化のルーツと未来を知り、キッチンカーで実際に食べよう!



**永谷正樹**

マツコ&有吉の怒り新党にも出演。名古屋食文化を知る第一人者。

### 三英傑合戦

※荒天中止

三英傑を大将としたチャンバラ合戦を行い、三英傑の歴史を感じよう!



**名古屋おもてなし武将隊**

全国の武将隊の先駆けとして、名古屋開府400年に結成。

### 名古屋魅カクイズ

ものまねコメンテーター解説の元、名古屋の知られざる魅力を知るクイズに参加しよう!



**コージ 富田**

タモリを始めとする多彩なレパートリーを持つ、愛知県出身のものまねタレント。

### クロージングライブ パフォーマンス

代表楽曲で盛り上がり、名古屋のまちの歌と一緒に歌おう!



**nobodyknows+**

地元名古屋が生んだ、NHK紅白歌合戦出演ヒップホップグループ。

### 尾張名古屋は

# 城で フェス!!

## 第2会場 | 名古屋能楽堂 名古屋の魅力を発信しよう!!

### 基調対談 「湧き上がれ、自らが宿す発信力～一人ひとりがまちのPR大使!～」

※事前登録あり

絶妙に引き出された三谷ワールドから、魅力の創造・発信の意義を知り、学んだスキルを使いこなそう!



**三谷幸喜**

映画監督・脚本家として、「ラヂオの時間」・「真田丸」等ヒット作品多数。



**八木亜希子**

女優として、三谷監督・脚本作品「みんなのいえ」に出演。なかなかの観光親善大使。

## JCフェスティバル 委員会

JCフェスティバル委員会では、多彩なファンクション・講師陣によって、名古屋の魅力を深く体感していただき、その魅力を効果的に発信することができるようになる例会、「JCフェスティバル2017～轟け!名古屋の魅力～」の設営準備に取り組んでいます。

昨今報道される、名古屋は魅力がないまちであるというイメージを払拭し、ご参加いただいた皆様一人ひとりが名古屋の魅力を積極的にPRしたくなる、そのような例会の構築を目指しています。



川村浩嗣委員長

# 2017 JC festival

### 川村浩嗣 委員長

私たちの委員会では、例会当日に向けて準備を進めておりますが、我々はそれぞれが専門分野の違う会員の集まりであり、このような催しを運営するプロフェッショナルではありません。ですから、どれだけ考えて準備をしても、「それが正解なのか」と、不安は尽きません。しかしながら、何をすることも決まっていけない計画の段階から、例会を構築し、責任と自覚を持って具現化していくために、考え、実行していく、その過程全てに学びがあったと実感しています。そして、共に設営する仲間が切磋琢磨することで、さらなる学びの機会が得られるのだと感じています。

市民の皆様には、JCフェスティバルを通して、名古屋のまちの魅力を今以上に感じていただき、積極的に名古屋の魅力をPRしていただきたいと思っています。

### 山内昭吾 副委員長

■名古屋青年会議所の会員になってからの自身の変化と、今後の活動への意気込みをお聞かせ下さい。

名古屋青年会議所へ入会してからは、今まで気にもしていなかった「魅力のない都市No.1」のニュースが気になり、何か発信できる魅力がないかと考えるようになりました。私は、名古屋のまちに魅力がないのではなく、ただ発信する力が弱いだけなのだと思います。我々は、もっと名古屋の魅力を知り、まちのリーダーとなって他の団体との協力関係を結び、メディア等も巻き込む働きかけをし



山内昭吾副委員長

ていかなければならないと思います。このようにもの見方が変わっただけでなく、青年会議所の活動を通じてできた人々とのつながりや、利害関係のない人たちが一つの運動に携わり、同じ目標に向かう団結心を育む過程は、私の社業にも生かされています。

まだまだ、私たちにできることは無限にあると思います。自分自身に何を求められるのかはまだ明確になっていませんが、名古屋のまちのために一生懸命に取り組む姿勢を忘れず、いれば、きっと何かを得られると今は信じられます。

まずは、私たちが開催させていただく事業において、市民の皆様が名古屋の魅力を体感していただけるものを発信していきたいと思っておりますので、一人でも多くの方のご参加をお待ちしております。

## 次代へつなぐ歴史感構築委員会



5月22日、日中韓の相互理解と共存共栄をテーマにした例会を開催しました。この3国は、近現代の歴史認識の相違により対立を繰り返していますが、過去に遡れば長い交易の歴史を有しております。今を生きる私たちこそ、次の世代のために、日中韓の相互理解による共存共栄の道を探るべきだ、というメッセージを発信しました。

また、戦後72年を迎え、このまちから戦争の記憶が薄れ続けている現状を踏まえ、7月～8月に、戦争の記憶と教訓を次の世代を担う若者に承継する事業を、全3回の日程で実施します。8月26日の第3回では、大学生から小中学生への授業の後、事業の締めくくりとして、瑞穂運動場西側に位置する山崎川で平和への祈りを込めた灯籠流しを行います。



八木俊行委員長

### 八木俊行 委員長

理事長所信から端を発した本年度の運動が、数か月を経て、各委員長の築き上げた方針をもとに、一つひとつ目に見える成果物として実現されていく過程を目にする中で、「集団としての運動は、このように実現されていくのだ」と実感しております。

例会事業では、それぞれのテーマごとに、人々の意識を変革するための様々なメッセージを発信しています。そして、そこには担当理事を始めとする、たくさんの方の思いが込められています。

参加していただく市民の皆様には、各例会・事業にそのようなメッセージが存在することを感じ取っていただきたいと思っています。そして、我々の発するメッセージについて、それが「正しい」のか「間違っている」のかだけでなく、「何が正しい」のか「何が間違っている」のかといったことについて、皆様ご自身にも考えていただきたいと強く願っております。

### 前田恵実 委員

■青年会議所 何を学び、得たいと思いますか  
名古屋青年会議所は700名以上の会員から構成されているため、開催する事業や例会の規模がとても大きいことが魅力だと思っています。そういった事業や例会を構築する中で、普段の生活や仕事だけでは経験できないことが経験できたり、知らなかったことを知ることができたり、行けない場所に行くことができたりするので、名古屋青年会議所は自分の未知の領域を無限に広げられる、学びの場だと思っています。

また、経営に携わる会員の方々からは、色々なお話が聞けるので、仕事においてもプライベートにおいても、とても活かされています。



前田恵実委員

■事業への意気込み、PRをお願いします。  
戦争を体験していない世代が増えてきましたが、戦争経験者の方の声を聴くことで、戦争によって苦しんだ人々の様子や、そこで起こった残酷な状況を知っていただきたいと思っています。

戦争を昔の事として風化させるのではなく、子の世代、孫の世代へと伝えていく事が大切だと思っていますので、たくさんの方のご参加をお待ちしております。

今後もどんどん本音で話ができ、お互いを高め合える仲間との出会いに期待しています。

■青年会議所に入会してから、一市民としての意識に、何か変化はありましたか？  
名古屋青年会議所の事業や例会のみならず、他の団体が開催している催し物や行事に参加する時に、ただ楽しむだけではなく、誰が、何を目的として開催しているのかという本筋を考えるようになりまし。そういうことに目が向くようになってからは、そういった催し物や行事が「あつて当たり前」ではなく、「やっていたらいい」という感覚になりました。

また、参加をされている市民の方々の意識の高さにも気づかれました。青年会議所が、そういった市民の方々のために場を提供できていることはとても素晴らしいことだと思います。

## クールでホットな NAGOYA創造委員会

### Fair Trade

私たちの委員会では、フェアトレードや国際貢献を意識していただくきっかけとなる商品の開発プロジェクトを行っています。現在開発している商品には、かつて地雷原だったカンボジアの畑で栽培された、オーガニックコットンを使用しています。このコットンの素材の良さを活かしながら、「有松絞り」の技法を用いて、名古屋の伝統的なものづくり文化に根差した魅力ある商品となるように取り組んでいます。

この商品の試作品を7月15日に行われた例会で発表したところ、多くの方から好意的な評価をいただきました。また、例会では途上国で実際にものづくりを行われてきた山口絵理子氏から、国際社会が抱える貧困問題等の課題を解決するには、持続可能なビジネスモデルを確立する必要があることをお話いただきました。

我々の開発している商品のようなフェアトレード商品を手に取っていただくことが、明日から誰にでもできる国際貢献につながるのです。



鈴木里英委員長

### 鈴木里英 委員長

この委員会を受け持った時、「世界的な問題を解決する」という、非常に大きな抱負をいただいたと思いましたが、自分自身が色々な調査を進めるうちに、実は身近な行動で国際貢献ができるということや、フェアトレードが国内の社会問題をも解決できるということを知りました。また、私自身のみならず、委員会メンバーも本を読む等、自発的に調査・研究を進め、我々が取り扱っている問題解決に向けて、行動してくれています。

人的支援や物的支援というのは一方的な関わりであるだけでなく、一過性の支援となってしまうことも多く、根本的な課題解決に結びつかない事例が多いのですが、フェアトレードは作る側の自立を促すと共に、買う側にも無農薬・無添加の商品を手に入れることができる等のメリットを生みます。私たちが開発している商品も、皆様が心から手に入れたいと思える商品となるように、素材や技法だけでなくデザイン等も工夫しておりますので、ぜひともご期待下さい。

### 小林靖浩 副委員長

■青年会議所に入会してから、一市民としての意識に、何か変化はありましたか？  
青年会議所の運動に取り組む会員には、このまちやそこに住まう人たちに、何が必要なのかを考える「機会」が常に与えられています。私自身も、青年会議所の運動に参画する中で様々な「機会」をいただき、周りの人たちに對する思いやりや、優しさとは何か、ということを意識するようになりました。その結果、自分のことばかり考えていた私が、「まちや人のために何ができるのだろう。」と問いかけるようになった。



小林靖浩副委員長

■所属委員会の活動で、意識していることをお聞かせください。  
私たち「クールでホットなNAGOYA創造委員会」は、持続可能な国際貢献のあり方としてフェアトレードを取り上げ、カンボジアで栽培されているオーガニックコットンを使用したフェアトレード商品の開発に取り組んでいます。

しかしながら、このフェアトレードが一体何なのかということ、名古屋市民の方々を始め、多くの日本人には未だよく知られていないのが現状です。この言葉の意味や、なぜ今、フェアトレードが必要なのかを皆様に知っていただきたいと思っています。

私たちが担当させていただいている事業や例会では、直接的に世の中を大きく変えることは出来ないかもしれませんが、関わっていただける市民の方々の考え方を伝えるきっかけをつくることは、できると思っています。一人でも多くの方にフェアトレードの概念を知っていただくことで、一人でも多くの方の平和に対する意識を変え、一人でも多くの人の身近な社会貢献につながることを強く願って活動しています。

## 未来を彩るテクノロジー研究委員会

### Technology

私たちは、テクノロジーの可能性を広く発信すると共に、テクノロジーの使い手として求められる道徳観や倫理観を身に着けることをテーマに、子供たちを対象とした体験型の事業を実施します。小学生を対象としたリニアモーターカーの製作から、中高生を対象としたレスキューロボットや触覚テクノロジーの体験まで、未来を彩る無限の可能性を秘めた先端テクノロジーに関する学びの場を提供します。

また、全4回行われる本事業の集大成として、テクノロジーを利用したまちづくりという観点から、IoTを利用した名古屋テレビ塔のライトアップを企画しています。



橋田英明委員長

#### 橋田英明 委員長

本事業のテーマであるテクノロジーについては、その内容が専門的であることもあり、「自分とは縁遠いもの」という印象を持たれてしまうかもしれません。しかし、テクノロジーは私たちの生活と密接につながっていますし、だからこそ使い手である私たち自身が生活を豊かにするためにテクノロジーを活かしていくことが大切です。また、その使い方を誤らないために必要な資質を一人ひとりが磨いていくことも必要です。

自分たちとは縁遠いテクノロジーという印象を払拭し、テクノロジーの進歩や発展が生み出す可能性を体感いただくことのできる事業を行いますので、ぜひともご家族やご友人をお誘いあわせの上、ご参加下さい。

#### 古池将大 副委員長

■古池さんの社業について聞かせて下さい。  
冠婚葬祭等に使われる、食品ギフトの卸売業を主な事業としながら、アジア圏に向けて、お菓子・珈琲・紅茶等の食品輸出も行っています。祖父の代の創業で、もうすぐ50年を迎えます。

私は、一度、別の商社に勤めた後、3年ほど前に父が代表を務めている今の会社に入社し、普段は営業活動に関わりながら、自分で立ち上げた貿易事業にも力を入れています。

#### ■名古屋青年会議所に入学したきっかけは？

取引先に、名古屋青年会議所のOBの方がいらっしゃるし、声をかけていただいたのがきっかけでした。前職で勤めていた約10年の間、県外や海外での勤務がほとんどだったので、名古屋青年会議所に所属することで地元名古屋



古池将大副委員長

#### ■古池さんの所属する未来を彩るテクノロジー研究委員会の活動について聞かせて下さい。

私たちの委員会は、7・8月に、小学生に向けて先端技術の体験をしてもらえらる事業を行います。4部に分かれて構成されていますが、最後には子供たちが自分たちでプログラミングをして、名古屋のシンボルであるテレビ塔をライトアップするというメインイベントが行われます。子供たちには、この事業を通して現代の先端技術に触れ、楽しんでもらうことももちろんですが、その一方で、その技術を活用する側の人の道徳観や倫理観の大切さも一緒に学んでもらいたいと思っています。

## 未来へのソウゾウリョク育成委員会

私たちの委員会では、子供たちが想像力と創造力を兼ね備えた「ソウゾウリョク」を身に付けられるように、「音楽」「絵画」「小説」「レゴブロック」の身近な手法を使い、知的好奇心と探求心を刺激するプログラムを実施しています。子供たちの純粋で素直な心を大切にしながら、未知の可能性に挑戦することの面白さを子供たちに知っていただくと共に、子供たちの柔軟な思考力と自由な発想力を伸ばす環境を創り出す、親のあり方についても理解を深めて参りたいと考えております。



三輪大介委員長

#### 三輪大介 委員長

名古屋青年会議所の理事として、この組織がどのようにまちのために貢献できるのか常に考える立場にあります。目的意識を持ち、計画段階と実施する際の相違を埋めていく中で、学びを得て、会社の経営や仕事の考え方に取り入れています。

事業を構築する際、企画段階で一番苦労しました。どのようにソウゾウリョク(想像力と創造力)を子供たちに育ませ、子供たちにどう活かしてもらうのか、そのための手法はどうすればよいのか。多くの先生や講師にもお話を聴きながら、企画させていただきました。恥ずかしいが子どももいれば、積極的に参加する子など色んな子供たちがいる中で、我々が彼らに対してどう接すれば良いのか、常に考えさせられています。

#### 早瀬晋平 副委員長

■青年会議所で何を学び、得たいと思えますか。  
自分のできる範囲を少し超えて無理をすることで、自分の殻を破りたいと思います。

■青年会議所に入学してから、一市民としての意識に、何か変化はありましたか。  
社会や自分が暮らすまちのことを考える機会が増えて、それらに思いをいたすようになりました。

■名古屋のまちが、どのようなまちになっていくと良いと思いますか。  
子供たちが、想像力や創造力を最大限に発揮して、伸び伸びと明るく暮らせるようなま

ちになれば良いと考えています。その先に、成長した子供たちや、子供たちの影響を受けた大人たちが創り上げる、「明るい豊かな社会」が待っているのではないかと思います。

■事業例会への意気込みとPRをお願いいたします。  
私が所属している「未来へのソウゾウリョク育成委員会」では、子供たちの想像力と創造力を兼ね備えた「ソウゾウリョク」を育成する事業を行っています。第1回は音楽、第2回は絵画、第3回は小説、第4回はレゴブロックを題材に、子供たちのソウゾウリョクを育みます。

いずれも楽しい企画ですので、子供さんたちにたくさん参加していただきたいと思っています。また、第4回では、これまでの成果を踏まえたパネルディスカッションも実施します。子供たちのソウゾウリョクが育まれていく様子を、是非、保護者の皆様にも見ていただきたいと思います。



早瀬晋平副委員長

の人のつながりをさらに広げていきたいと思いい、2015年に入会をしました。

■名古屋青年会議所に所属をしたことで、社業に活かされていることはありますか。  
仕事について意見交換できる仲間ができたことが、一番良かったと感じています。今の職種では、マネジメント能力がとも必要とされます。名古屋青年会議所の仲間には経営者の先輩も多く、アドバイスをもらうことも多々あります。業種関係なく、様々な経営者の方とつながれるのは、自分にとってとても良い環境だと感じています。

## リアル経済研究委員会

当委員会では、産学官が協同してより良い制度を構築していくことができるよう、その端緒となる事業の構築を目指しております。これまでも、行政は様々な制度を整えてきた一方で、その制度自体が「実際の産業界のニーズとどこか噛み合っていない」、「目的は合致しているものの条件が厳しく、非常に使いづらい」等、現状には大きな改善の余地があるのではないかと考えております。



遠藤圭委員長

### 遠藤圭 委員長

私たちの委員会では、産学官の新たな連携のあり方をプラットフォームとして実現することを目指していますが、同じテーマを掲げても、事業者・学者・行政と、いずれも目標が異なるため、議論を噛み合わせることで自体が中々難しい状態です。そのような困難に直面しながらも、その解決方法を模索する中で、私たちは様々な学びを得ることができています。まちなことを思いつく行動する意識を市民の方々にも持っていただくには、私たちは何をすべきなのかと

いう事を考え、それを実行していく日々は、仕事だけをしていては得られない貴重な機会となっております。市民の皆様へのアプローチと同時に、名古屋青年会議所の委員長は、自分の委員会にお預かりした会員の意識変革も考えなければなりません。利害関係のない人間関係の中で、全ての委員会メンバーが青年会議所運動に対して能動的に取り組むようになってもらえるよう、リーダーとしての姿を示していく必要があるのです。このように、青年会議所は、その運動の中で多くの学びと、貴重な経験を与えてくれる組織であると感じています。

### 伊藤武則 副委員長

■青年会議所ではどのような学びがあり、その学びはどういったところで活かされているかお聞かせください。

会議の進行の仕方や、人付き合いの仕方を学ばせていただいています。また、自分の性格についても、入会して始めて気が付いた部分があります。

私にとって青年会議所は自己の成長の場であり、生涯の友人が得られる場であると感じ



伊藤武則副委員長

ています。新規のお客様や取引先を獲得する等、既に社業においても還元できている部分があると思えますが、これからは色々な情報を得ながら自らを成長させ、今後10年・20年というスパンで形にしていけたらと思っています。

■青年会議所に入会してから、一市民としての意識に、何か変化はありましたか。

例会に参加することで、意識の変化を感じることができています。また、自分の信じるものが「確信」へと変わるのを感じました。そして、名古屋青年会議所の事業や例会に積極的に参加することで、自分の「名古屋愛」が強まった気がしています。

現在の名古屋経済は、決して安定しているとは言えないのではないかと考えています。しかし、今ある発展材料を上手く活用するだけで、どんどん変わっていくと思うので、まずは活気があるまち、わくわくするまちになって欲しいと思います。

### ■事業PRをお願いいたします。

「新たな産学官の仕組みを形成する」というテーマを与えていただけており、9月から11月の3か月間に亘る事業を計画しています。具体的には、経営に携わる方であれば誰もが気にされる、「女性の社会進出」や「補助金・助成金のあり方」について、産業界のニーズを汲み取りながら、「官」と「学」との連携をより効果的なものとするよう、新たなプラットフォームの構築を目指しています。現場の声を反映した、意義のある事業にしたいと考えておりますので、皆様ご期待下さい。

### 山邊信之 委員長

私どもの委員会のテーマである「防災」は、日本社会の大きな課題であります。毎年、各地で様々な災害が起きている状況の中で、自分たちも突如として被災する可能性があるということ念頭に、名古屋青年会議所としても対策を講じようとしています。

そして、この「防災」という課題は、名古屋青年会議所の理事として私に与えられた重責、また覚悟を持って取り組むべき課題であると思っています。私たちは実際に東北の地を訪ね、現地の方々から当時のお話を聞いてまいりましたが、被災地に残された悲劇の傷跡を目の当たりにして、同じ悲しみが名古屋に生まれないようにと、決意を新たにこの課題に取り組んでいるところであります。

我々は、過去の震災の教訓を学び、その教訓を知恵に変え、どのように備え、有事の際にどのように行動すべきかを考えていく必要があります。事業や例会に参加していただいた方々が「防災」を自分事と捉え、すぐに適切な行動をとっていただけるようになることを目標に、これからも一層の努力を重ねてまいります。

### 安井琢磨 副委員長

■青年会議所ではどのような学びがあり、その学びはどういったところで活かされているかお聞かせください。

青年会議所には、立ち振る舞い・スピーチの仕方・身だしなみ等、お手本となる先輩がたくさんいらっしゃいますので、私も先輩方のような「カッコいい青年経済人」になれるよう、これからも勉強していきたいと思っています。また、青年会議所ではその他にも



安井琢磨副委員長

多くの学びを得ることができると。自分の会社に戻った際には、従業員にも同じように「勉強の機会」を与えることを強く意識しています。

■青年会議所に入会してから、一市民としての意識に、何か変化はありましたか？

社会のために活動している中で、これまで自分のことや自分の会社のことばかりを考えて生きてきたことに気づかされました。

「世のため人のために」、「名古屋や日本をよくしたい」と思い行動することで、自分の周りの人たちが互いに相手を思いやるようになり、それがやがて「自分のために」へつながっていくのだと考えるようになりました。

### ■どのような事業・例会にしたいですか。

いずれ必ずやってくる南海トラフ巨大地震という脅威に対し、市民一人ひとりが防災意識を持ち、発災時には自分自身や大切な人を守る事ができるようなまちなちにしたと思っています。知ることや備えることで、もっと守れる命があります。有事の際、大切な人を守る市民が、一人でも多く育つことを望んでいます。

## セーフティビジョン 研究委員会

## 防災

当委員会では、9月・10月に行う事業と例会に向けて、打合せや現地調査を重ねているところです。9月に予定している例会では、南海トラフ巨大地震に対する市民の防災意識が極めて低いという現状に対して、一石を投じようとして計画しています。防災意識の向上のみならず、実際に「しっかりと備えをしよう」と思っただけの内容となるように、工夫を凝らしております。また、有事の際、名古屋青年会議所会員が率先してリーダーシップを発揮し、一人でも多くの命を守ることができるようになるための事業を企画・立案しています。



山邊信之委員長